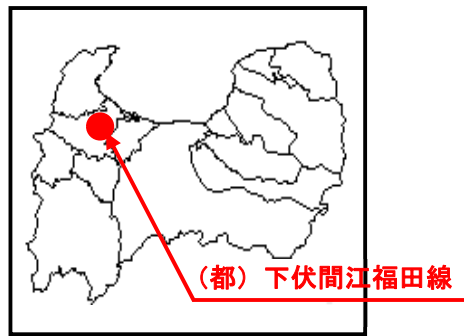


## 再評価結果（令和6年度事業継続箇所）

担当課：都市局 街路交通施設課  
担当課長名：服部 卓也

事業名：空港・港湾等アクセス道路 都市計画道路 下伏間江福田線 （伏木富山港アクセス）	事業 区分	街路	事業 主体	高岡市
起終点：自：富山県高岡市佐野 至：富山県高岡市京田			延長	1.1km
事業概要 本路線は、北陸新幹線新高岡駅を連絡する幹線道路であり、高岡市緊急輸送道路（第2次）にも位置付けられているとともに、高岡IC及び総合的拠点港である伏木富山港を結ぶアクセス道路として、物流ネットワークの一部を担う重要な路線である。				
H20年度事業化		S41年度都市計画決定		H21年度用地着手
全体事業費	約106億円	事業進捗率	約85%	供用済延長
1.1km				
計画交通量：17,600～18,000台/日				
費用対効果	B/C (事業全体) 2.2  (残事業) 1.7	総費用	(残事業)/(事業全体) 17/114億円 事業費：17/114億円 維持管理費：0.09/0.39億円 更新費：0/0億円	総便益
		(残事業)/(事業全体) 29/255億円 走行時間短縮便益：23/222億円 走行経費減少便益：5.5/30億円 交通事故減少便益：0.67/2.5億円		基準年
令和5年				
感度分析の結果 (事業全体) 交通量：B/C=2.0～2.5 (交通量±10%) (残事業) 交通量：B/C=1.5～1.9 (交通量±10%) 事業費：B/C=2.2～2.3 (事業費±10%) 事業費：B/C=1.6～1.9 (事業費±10%) 事業期間：B/C=2.2～2.2 (事業期間±20%) 事業期間：B/C=1.6～1.8 (事業期間±20%)				
事業の効果等 京田踏切（JR城端線と平面交差）の改良（地下式立体交差）を含む当該区間の整備により、機能的な幹線道路のネットワークを形成し、インターチェンジ及び港湾へのアクセス性の向上、都市内交通の円滑化を図ることができ、市街地の渋滞解消に寄与するものである。				
関係する地方公共団体等の意見 地元住民及び高岡南部地域活性化推進協議会から、本路線の早期完成の要望を受けている。				
事業評価監視委員会の意見 事業継続を妥当と認める。				
事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等 北陸新幹線新高岡駅の開業や商業施設、事務所の進出など、土地利用が進んでいる。				
事業の進捗状況、残事業の内容等 用地取得率100%、事業進捗率85%				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 令和9年度には車道中央部を除き完成、令和11年度の4車線での供用に向けて、事業進捗を図る。				
施設の構造や工法の変更等 今後も新技術の採用や工法の見直しによる工事コストの縮減等、総コストの縮減に努めていく。				
対応方針	事業継続			
対応方針決定の理由	事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。			

事業概要図



- ※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価値を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
- ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳と一致しないことがある。